

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年12月11日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO.101
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～学力向上のための 学校・家庭の連携～

本校には多くの若手の先生方がおり、日々研究を積み重ね教師としての授業力を磨く努力をしています。この日は、算数科「順序よく整理して調べよう」という研究授業を行いました。



前もって子供たちが宿題で考えてきた内容を3人グループになり友達が納得するまで説明をします。次に、8人ほどのグループに分かれて、一番分かりやすい方法を導き出します。それを全体に写真のように黒板を使って説明していきます。



前もって家庭で学習内容を把握し、自分なりの考えをもってきたことで、授業の中では早く理解し、多くの意見を聞くことで考えが広がり深まったようです。

今回の授業は「反転学習（反転授業とも言います）」と言います。私たちが学生時代にしていた「予習」と言った方が身近で分かりやすいかもしれません。ある程度内容を理解していた方が、子供たちにすんなり入っていくように感じました。



研究授業の後は、放課後先生方が集まって「研究協議」という授業に関する話し合いを行い、今回の授業の「成果や課題」を見つけ、次に生かしていきます。

1時間の研究授業を行うには、多くの時間を要します。普段の授業を展開する中、研究授業の準備を整えていき、授業を公開します。

本校では1年目の先生から30数年までのベテランの先生方が日々授業研究を行い、「子供たちのため」にがんばっております。

日々お忙しい中とは思いますが、時々でもいいですので、少しの時間、ご家庭で「家庭学習」や「宿題」に目を通し、子供たちの学習の習得の様子を見守っていただき、子供たちの学力向上のために、力をお貸しいただきたいと思います。

これは、目の前にいる「**子供たちの将来の選択肢を広げるため**」です。ともに連携して子供たちを育ててまいりましょう。